

# 人権意識啓発チェックシート

～普通学級での障害のある子への対応～

障害の種類や程度にかかわらず、たくさんの障害のある子が普通学級で学んでいます。どの子も安心して楽しい学校生活が送れるよう、学校における人権意識啓発の一助になることを願ってこの資料を作成しました。

当会に寄せられた事例をもとに作成しており、具体的でわかりやすい記述を心掛けています。

ぜひ研修やいろいろな機会・場面でご活用いただければ幸いです。

## ① あなたは、どう思いますか？

(小・中学校教師／普通学級での障害のある子への対応)

各項目を読んで、自分の思い当たる項目に印をつける活動をとおして、自らの教育活動を「人権」の視点から振り返ったり、教職員全体で話し合ったり、問題の共有や、共通理解を図る手がかりとして活用することができます。

ここに示した項目がすべて人権侵害や差別にあたるというものではありません。しかし、一見問題がなさそうに見えるものでも、強引に行ったり、長期間続くと問題が生じるものもありますし、当事者サイドに立って想像することで見えてくることもあります。

## ② 日常生活で気をつけたい教師の言動について

—障害のある子がいる普通学級で、こんなことはないでしょうか？—

学校の中で聞こえてきた教師の言葉をまとめてみました。何気なく発している言葉を、文字で読むことで、人権の視点から見直すことができます。教職員全体に配布し、障害のある子への対応にとどまらず、学校全体の環境を整え、児童・生徒や保護者との円滑な人間関係と信頼関係を築くための資料とすることができます。

共に育つ教育を進める千葉県連絡会

## あなたは、どう思いますか？（小・中学校教師／普通学級での障害のある子への対応）

学習	1	知的な遅れがあるのだから、みんなと同じ授業を受けても意味がないと思う。	
	2	この子に手がかかり、他の子が学習する時間がけずられるのはどうかと思う。	
	3	担任はクラス全体を見るので、その子の学習はサポートの職員に任せている。	
	4	「こんな問題もできないなら、ひまわりさん（特別支援学級）に行ってもらおうよ」と言うことがある。	
	5	どうせ読めないのだから、みんなと同じプリントは渡していない。	
	6	プールの時、本人だけ目立つように違う色の帽子をかぶらせている。	
	7	作品の出来が拙いので、その子の作品は掲示していない。	
	8	合奏が乱れないように、その子の楽器は音が出ないようにしておく。	
	9	着替えに時間がかかるので、その子だけ体操服に着替えずに体育をさせている。	
	10	体育の時間、車椅子の子は他の子と別にして歩行練習をさせている。	
	11	授業中落ち着きがなくなったら、他の部屋に誘導している。	
	12	親に知らせず、特別支援学級で授業を受けさせたり、取り出し授業をしている。	
	13	発達年齢や知能指数がわからないと適切な指導はできないと思う。	
テスト・評価	14	通知表の評定欄に、空欄や斜線がある。	
	15	テストの時他の子が集中できないので、その子だけ別室で受けさせている。	
	16	クラスの平均点が下がるので、テスト結果の集計からその子の分は省いている。	
行事・特別活動	17	部活動への参加は任意なので、障害のある子は入部を遠慮してほしいと思う。	
	18	職場体験の場所を探すのは大変なので、親に探してもらったら良いと思う。	
	19	行事の際、障害のある子には医師の診断書の提出を求めている。	
	20	障害のある子の進路指導は、高校ではなく特別支援学校の高等部を勧めている。	
生活	21	自立のために、着替えや教科の準備や移動などは時間がかかっても手伝わず自分でやらせている。他の子どもにも手伝わないようにと言っている。	
	22	字が書けない子の連絡帳を教師が書いてあげるのは、子どものためにならないと思う。	
	23	危険なので、子どもたちが車椅子を押すことは禁止している。	
	24	子ども同士が協力するように、その子の「お世話係」を決めている。	
	25	人に手伝ってもらったら毎回「ありがとう」と言うよう指導している。	
	26	給食当番や日直などはやらせていない。	
	27	障害のある子は席替えのクジは引かせず、いつも教師の近くの席にしている。	
	28	指や鉛筆などをなめたりするので、みんなに「汚い」と言われても仕方ない。	
	29	写真撮影の時はいつも端っこに並ばせている。	
	30	高学年になっても甘えてくるので、教師のひざの上に乗せて抱っこしてあげる。	
	31	休み時間用に、その子専用の幼児番組の音楽カセットテープを用意している。	
基本	32	普通学級にいるのだから、配慮はできないし、しなくて良いと思う。	
	33	普通学級ではなく、特別支援学校や特別支援学級に行く方が幸せだと思う。	
	34	食事介助やおむつ交換、着替え、移動介助などは、教師の仕事ではないと思う。	
	35	学校生活や学校行事に、親の付き添いを依頼したことがある。	
その他	36	説明しても理解できないし意思表示もしないので、本人に意見は聞かない。	
	37	うまくしゃべれない子の親からいじめの訴えがあっても、相手の子はやっていないと言うのだから、それは親の思い過ごしだと思う。	
	38	物がなくなった時、まっ先にその子ではないかと疑ったことがある。	
	39	学校内で問題となるような行動がある時は、親に話して家庭できちんと言い聞かせて指導してもらおうと良いと思う。	
	40	保護者会で特別にその子の障害の状況を話してもらおうよう保護者をお願いした。	
	41	その子の汚れた洋服を、兄のクラスに届けて家に持って帰ってもらった。	

## 日常生活で気をつけたい教師の言動について

### － 障害のある子がいる普通学級で、こんな事はないでしょうか？－

#### ●尊厳を傷つけていませんか？周りの子どもたちも聞いています。

1. 「○さんは何でここにいるの？ひまわりさん（特別支援学級）の方が楽しいよ」
2. 「○ちゃんもみんなと同じように生まれてくれば良かったのにね」
3. 「車椅子なんだから、運動クラブではなく音楽クラブに入りなさい」
4. 「こんな問題もできないなら、ひまわりさん（特別支援学級）に行ってもらおうよ」
5. 「何回言っても分からないんだから！」
6. 「赤ちゃんみたい」「幼稚園児みたい」
7. 「○君は3.8歳だからね～」
8. 給食の食べこぼしに「きったなーい！」
9. 「どうせできないから、○さんはやらなくていいです」「どうせわからないから、○さんはこれでいいです」
10. (オムツ使用の○ちゃん)「あっ、臭い！○ちゃんオシッコしたでしょ、臭うもの」

#### ●対等の関係を妨げていませんか？

11. 障害のある子と同じ班になった子に、「くじ引きだからしょうがない。我慢してね」
12. 「○ちゃんと遊んであげてね」「○さんのお世話をしてあげてね」
13. 「ひまわりさん（特別支援学級の子）には、優しくしなさい」

#### ●職員室のなかで・・・

14. 「この子はいつもそう」「この子にはいつも困っているんです」
15. 欠席の連絡に、「今日は楽だわ」
16. 欠席予定の子が体調が回復し出席するとの電話を受けて、「え！来るんですか？！」

#### ●保護者に対して・・・

17. 「普通学級にいるといじめられますよ」
18. 「私には33人の子どもたちがいるので、○さんのことまで見られません」（34人のクラス）
19. 「ここ（普通学級）は、普通の子が来るところです」
20. 遠足や宿泊学習などの際、「(お子さんは)参加しますか？どうしますか？」
21. 「お母さん、いつも迷惑かけているので、(他の保護者に)お礼を言っておいてください」
22. 「お母さん、他の保護者から苦情が出ても知りませんよ」